

# 令和6年度上期の取り組み

## 南湖地域懇談会（旧市民集会）

令和6年8月31日（土）老人憩いの家「しおさい南湖」にて地域懇談会を行う予定でしたが、台風10号の影響で中止となりました。今後の対応を検討中です。

### 【予定されていた懇談会の内容】

\* 茅ヶ崎海岸全体の浸食状況と西浜海岸について

・・・県藤沢土木事務所なぎさ港湾課による講演

### 【質問事項】

- 1 サイクリングロード周辺の砂だまりについて、現状の対応と対策。
- 2 飛砂の影響は国道134号線まで出ているが、その対策について。
- 3 養浜のため西浜海岸に集めた砂の処理について。また、砂浜の管理における県と市の連携について。
- 4 西浜地区は砂処理の関係で海岸植物がなくなっているが、植栽や保護について県や市がやっていることはあるか。
- 5 養浜後の海底の地形の変化等は、海中生物（魚介類他）に影響しないのか。

## 南湖地区納涼盆おどり

8/18に南湖地区納涼盆おどりを開催しました。模擬店には西浜中学家庭部員の自作浴衣姿での製作品展示・販売が加わり、例年より華やかさが増しました。

また南湖中町郷土芸能保存会による南湖麦打ち唄の披露では、大勢の子どもが麦打ちを体験できました。

盆踊りは新南湖自治会及び有志による力強い太鼓の音色の下、民舞会による模範踊りを中心に参加者による大きな輪ができていました。過去最高の人出が見られ南湖地区の絆が一層深まったことと思います。



記：南湖地区まちぢから協議会 西浜地区体育振興会

## エピソード2：茶屋町

江戸時代の東海道（現在の国道1号線）の藤沢宿と平塚宿の間には、休憩する場所として三か所の立場がありました。道幅約7メートルの南湖立場には元禄から享保期頃（約300年前）にかけて多くの立場茶屋ができました。立場茶屋のなかでも、間口20間（約36メートル）程の構えがあった茶屋本陣松屋には参勤交代時の萩藩、加賀藩などが休憩しました。また茶屋脇本陣江戸屋には伊能忠敬が大日本地図作成の測量の旅の途中で宿泊しました。他にも橋屋、藤屋といった旅人の宿泊に応じる旅籠茶屋や商店が軒を連ね茶屋町を形成していました。南湖の茶屋町は茅ヶ崎村で一番賑わいのある地域でした。明治31年に茅ヶ崎停車場（駅）が開業し、大正期には駅前に製糸工場が開設する等で、次第に茶屋町の賑わいも減少していきました。



南湖地区まちぢから協議会ホームページで歴史・文化など南湖の魅力を紹介しています。閲覧はコチラから！

⇒ <https://chigasaki-machiren.org/nango/nango-presen/>  
（または「南湖地区まちぢから協議会」で検索ください♪）

もっと知りたい！  
私たちのナンゴ